

<p style="text-align: center;">現行（令和3年版） 写真管理基準（案）</p>	<p style="text-align: center;">改定案（令和4年版） 写真管理基準（案）</p>	<p style="text-align: center;">改定理由</p>
<p>4. その他 撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義 (1) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。 (2) フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、「写真管理基準(案) 令和2年3月」を参考に監督職員と提出頻度等を協議の上、取扱いを定めるものとする。</p>	<p>4. その他 撮影箇所一覧表の整理条件の用語の定義 (1) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。 (2) フィルムカメラを使用した撮影～提出とする場合は、「写真管理基準(案) 令和3年3月」を参考に監督職員と提出頻度等を協議の上、取扱いを定めるものとする。</p> <p>※本基準に示す品質管理の工種番号は、「土木工事施工管理基準及び規格値(案)」(品質管理基準及び規格値)に示す工種番号と整合を取っている。 また、本基準に示す出来形管理の編章節番号は、「土木工事施工管理基準及び規格値(案)」(出来形管理基準及び規格値)に示す編章節と整合を取っている。</p>	<p>年度の更新</p> <p>新規追加</p>

現行（令和3年版）					改定案（令和4年版）					改定理由		
撮影箇所一覧表（品質管理）					撮影箇所一覧表（品質管理）							
番号	工種	写真管理項目			摘要	番号	工種	写真管理項目			摘要	
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
1	セメント・コンクリート(転圧 コンクリート・コンクリート ダム・覆工コンクリート・吹 付けコンクリートを除く) (施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]	不要			セメント・コンクリート(転圧 コンクリート・コンクリート ダム・覆工コンクリート・吹 付けコンクリートを除く) (施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]	不要		3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。
		テストハンマーによる強度推定調査						テストハンマーによる強度推定調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]			
		コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 [試験実施中]					コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 [試験実施中]			

現行（令和3年版） 撮影箇所一覧表（出来形管理）													改定案（令和4年版） 撮影箇所一覧表（出来形管理）													改定理由
【第1編 共通編】						【第1編 共通編】						【第1編 共通編】						【第1編 共通編】								
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要							
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度							撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度									
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-2	1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-2							
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕									・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	法長 ※右のいずれかで撮影する。			200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影					
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕											「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕									
				「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」における空中写真測量（UAV）」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。								「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。				3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。										
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-3	1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	1-2-3-3							
						「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要										「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要										
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕													締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕					
				法長幅 ※右のいずれかで撮影する。		200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕						法長幅 ※右のいずれかで撮影する。		200m又は1施工箇所 に1回 〔施工後〕												
				「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕								「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は1工事に1回 〔施工後〕				・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影										
				「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。								「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。				3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。										
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-2	1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-2							
						法長 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕									・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影	法長 ※右のいずれかで撮影する。			200m又は1施工箇所 に1回 〔掘削後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影					
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕											「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は1工事に1回 〔掘削後〕									
				「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。								「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」における空中写真測量（UAV）および地上写真測量」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。				3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。										

現行（令和3年版） 撮影箇所一覧表（出来形管理）							改定案（令和4年版） 撮影箇所一覧表（出来形管理）							改定理由				
【第1編 共通編】							【第1編 共通編】											
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目	概要	編	章	節	条	枝番	工種		写真管理項目	概要		
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度						
1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工路床盛土工	巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-3	1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4		巻出し厚	200mに1回 〔巻出し時〕	代表箇所 各1枚	1-2-4-3
						「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要									「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」における「締固め層厚分布図」を提出する場合は写真不要			
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕								締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に1回 〔締固め時〕		
						法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕								法長幅 ※右のいずれかで撮影する。	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は 1工事に1回 〔施工後〕	・出来映えの撮影 ・TS等の設置状況と出来形計測対象点上のプリズムの設置状況（プリズムが必要な場合のみ）がわかるように撮影							誤植				
						「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 土工編 多点計測技術（面管理の場合）」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。								3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。				

現行（令和3年版）											改定案（令和4年版）											改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）											撮影箇所一覧表（出来形管理）											
【第3編 土木工事共通編】											【第3編 土木工事共通編】											
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	2	6	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7	3	2	6	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7			
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕					
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較差」を 管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					
3	2	6	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調 整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7	3	2	6	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調 整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7			
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕					
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

現行（令和3年版）										改定案（令和4年版）										改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）										撮影箇所一覧表（出来形管理）										
【第3編 土木工事共通編】					【第3編 土木工事共通編】															
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
3	2	6	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント（石灰）安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7	3	2	6	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント（石灰）安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編 多点計測技術（面管理の場合）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕									厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3	2	6	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7	3	2	6	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3	2	6	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400㎡に1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7	3	2	6	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	整正状況	400㎡に1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕									タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			

現行（令和3年版）											改定案（令和4年版）											改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）											撮影箇所一覧表（出来形管理）											
【第3編 土木工事共通編】											【第3編 土木工事共通編】											
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	2	6	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8	3	2	6	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕						
3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8	3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。		
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕						

現行 (令和3年版)										改定案 (令和4年版)										改定理由
撮影箇所一覧表 (出来形管理)										撮影箇所一覧表 (出来形管理)										
【第3編 土木工事共通編】										【第3編 土木工事共通編】										
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8	3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕			
3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8	3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕			
3	2	6	9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	3	2	6	9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕			

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

現行（令和3年版）											改定案（令和4年版）											改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）											撮影箇所一覧表（出来形管理）											
【第3編 土木工事共通編】											【第3編 土木工事共通編】											
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	2	6	9	2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	3	2	6	9	2	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕						
3	2	6	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	3	2	6	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕						
3	2	6	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	3	2	6	9	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕						

現行（令和3年版）										改定案（令和4年版）										改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）										撮影箇所一覧表（出来形管理）										
【第3編 土木工事共通編】										【第3編 土木工事共通編】										
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
3	2	6	9	5	排水性舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	3	2	6	9	5	排水性舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕									タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕									タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕									平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			
3	2	6	10	1	透水性舗装工路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	3	2	6	10	1	透水性舗装工路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕			
3	2	6	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11	3	2	6	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-11	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕			

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

現行（令和3年版）											改定案（令和4年版）											改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）											撮影箇所一覧表（出来形管理）											
【第3編 土木工事共通編】											【第3編 土木工事共通編】											
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	2	6	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12			
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕					
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編 多点計測技術（面管理の場合）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					
3	2	6	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12			
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕					
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編 多点計測技術（面管理の場合）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）舗装工編 多点計測技術（面管理の場合）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					

3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。

現行 (令和3年版)										改定案 (令和4年版)										改定理由
撮影箇所一覧表 (出来形管理)										撮影箇所一覧表 (出来形管理)										
【第3編 土木工事共通編】										【第3編 土木工事共通編】										
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
3	2	6	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
						厚さ	1,000㎡に1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	1,000㎡に1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
3	2	6	12	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	整正状況	400mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	4	コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)	整正状況	400mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	
						タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕									タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
3	2	6	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	石粉、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)	石粉、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	
						スリップバー、タイパー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕									スリップバー、タイパー寸法、位置	80mに1回 〔据付後〕			
						鉄網寸法位置	80mに1回 〔据付後〕									鉄網寸法位置	80mに1回 〔据付後〕			
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕									平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
						目地段差	1工事に1回									目地段差	1工事に1回			

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

現行（令和3年版）											改定案（令和4年版）											改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）											撮影箇所一覧表（出来形管理）											
【第3編 土木工事共通編】											【第3編 土木工事共通編】											
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	2	6	12	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12			
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕					
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					
3	2	6	12	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12			
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕					
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕					

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

現行（令和3年版）										改定案（令和4年版）										改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）										撮影箇所一覧表（出来形管理）										
【第3編 土木工事共通編】										【第3編 土木工事共通編】										
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
3	2	6	12	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。
土木工事共通編	一般施工	一般舗装工	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕	※コアを採取した場合は写真不要ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕			※コアを採取した場合は写真不要ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								
			厚さ	1,000mに1回 〔整正後〕		厚さ	1,000mに1回 〔整正後〕													
			幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕		幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕													
3	2	6	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。
土木工事共通編	一般施工	一般舗装工	タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	タックコート、プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	タックコート、プライムコート			各層毎に1回 〔散布時〕										
			幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕														
			3	2	6	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	10	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)	敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕
土木工事共通編	一般施工	一般舗装工	厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕	厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕														
			平坦性	1工事に1回 〔実施中〕	平坦性	1工事に1回 〔実施中〕														

現行（令和3年版）										改定案（令和4年版）										改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）										撮影箇所一覧表（出来形管理）										
【第3編 土木工事共通編】										【第3編 土木工事共通編】										
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
3	2	6	12	11	コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート 舗装工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3	2	6	12	11	コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート 舗装工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	
						鉄筋寸法位置	80mに1回 〔据付後〕									鉄筋寸法位置	80mに1回 〔据付後〕			
						横膨張目地部ダウエル バー寸法、位置	1施工箇所に1回 〔据付後〕									横膨張目地部ダウエル バー寸法、位置	1施工箇所に1回 〔据付後〕			
						縦そり突合せ目地 部・縦そりダミー目 地部タイバー寸法、 位	80mに1回 〔据付後〕									縦そり突合せ目地 部・縦そりダミー目 地部タイバー寸法、 位	80mに1回 〔据付後〕			
						平坦性	1工事に1回 〔実施中〕									平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場 合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理す る場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)」により「厚さあるいは標高較差」を管 理する場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
目地段差	1工事に1回	目地段差	1工事に1回																	
3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13	3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調 整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13	3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調 整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔修正後〕			

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

現行 (令和3年版)											改定案 (令和4年版)											改定理由
撮影箇所一覧表 (出来形管理)											撮影箇所一覧表 (出来形管理)											
【第3編 土木工事共通編】											【第3編 土木工事共通編】											
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			概要			
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度				
3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13	3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処 理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13	3次元計測技術を用い た出来形管理要領 (案)の改定による。		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要								厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要						
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)舗装工編多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕						
3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13	3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定 処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13	3次元計測技術を用い た出来形管理要領 (案)の改定による。		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)舗装工編多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕						
3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13	3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	整正状況	400mに1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13	3次元計測技術を用い た出来形管理要領 (案)の改定による。		
						タックコート、フ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕								タックコート、フ ライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕						
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕								厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)舗装工編多点計測技術(面管理の場合)」 による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕						
3	2	6	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14	3	2	6	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14	3次元計測技術を用い た出来形管理要領 (案)の改定による。		
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕						
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)舗装工編多点計測技術(面管理の場 合)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (案)」による場合は 各層毎1工事に1回 〔整正後〕						

現行（令和3年版）										改定案（令和4年版）										改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）										撮影箇所一覧表（出来形管理）										
【第3編 土木工事共通編】										【第3編 土木工事共通編】										
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
3	2	6	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14	3	2	6	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕			
3	2	6	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14	3	2	6	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕			
						厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要			
3	2	6	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14	3	2	6	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-14	
						転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕									敷均し厚さ	各層毎400mに1回 〔施工中〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕									転圧状況	各層毎400mに1回 〔修正後〕			
						幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は各層毎1工事に1回 〔修正後〕			
3	2	6	15		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	1 施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-15	3	2	6	15		路面切削工	幅 厚さ(基準高)	1 施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による場合は1工事に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-15	3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)の改定による。

現行 (令和3年版)										改定案 (令和4年版)										改定理由
撮影箇所一覧表 (出来形管理)										撮影箇所一覧表 (出来形管理)										
【第3編 土木工事共通編】										【第3編 土木工事共通編】										
編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	編	章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目			摘 要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
3	2	7	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ幅	1,000m~4,000mにつき1回、又は施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m)につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案) 表層安定処理等・固結工(中層混合処 理)編」により出来形管理資料を提出する場合 は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略でき る。	代表箇所 各1枚	3-2-7-9	3	2	7	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ幅	1,000m~4,000mにつき1回、又は施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m)につき1回。 〔施工厚さ 施工中〕 〔幅 施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)」により出来形管理資料を提出する場合 は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略でき る。	代表箇所 各1枚	3-2-7-9	3次元計測技術を用い た出来形管理要領 (案)の改定による。
3	2	1	4	1	法砕工 (現場打法砕工) (現場吹付法砕工)	法長、幅、高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案) 法面工編」に基づき写真測量に用いた画 像を納品する場合には、写真管理に代えることが 出来る。	代表箇所 各1枚	3-2-14-4	3	2	1	4	1	法砕工 (現場打法砕工) (現場吹付法砕工)	法長、幅、高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)」に基づき写真測量に用いた画像を納品 する場合には、写真管理に代えることが出来る。	代表箇所 各1枚	3-2-14-4	3次元計測技術を用い た出来形管理要領 (案)の改定による。
3	2	1	5	1	場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-15-1	3	2	1	5	1	場所打擁壁工	裏込厚さ	120m又は1施工箇所に1回 〔施工中〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)」による場合は 1工事に1回	代表箇所 各1枚	3-2-15-1	3次元計測技術を用い た出来形管理要領 (案)の改定による。
						厚さ幅高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕									厚さ幅高さ	200m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要 領(案)」による場合は 1工事に1回 〔型枠取外し後〕			

現行（令和3年版）										改定案（令和4年版）										改定理由
撮影箇所一覧表（出来形管理）										撮影箇所一覧表（出来形管理）										
【第8編 道路編】										【第8編 道路編】										
編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要	
						撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度								撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度		
8	3	6	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅（橋軸方向） 敷幅（橋軸方向） 高さ 胸壁の高さ天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 構造物工編（試行） 」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	10-3-6-8	8	3	6	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅（橋軸方向） 敷幅（橋軸方向） 高さ 胸壁の高さ天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 構造物工編（試行） 」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	10-3-6-8	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。
8	3	橋 R 7 脚 工 C	9	1	橋脚躯体工 （張出式）	厚さ 天端幅敷幅 高さ 天端長敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 構造物工編（試行） 」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	10-3-7-9	8	3	橋 R 7 脚 工 C	9	1	橋脚躯体工 （張出式）	厚さ 天端幅敷幅 高さ 天端長敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 構造物工編（試行） 」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	10-3-7-9	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。
8	3	橋 R 7 脚 工 C	9	2	橋脚躯体工 （ラーメン式）	厚さ 天端幅敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 構造物工編（試行） 」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	10-3-7-9	8	3	橋 R 7 脚 工 C	9	2	橋脚躯体工 （ラーメン式）	厚さ 天端幅敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案） 構造物工編（試行） 」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形計測状況を1工事1回	代表箇所 各1枚	10-3-7-9	3次元計測技術を用いた出来形管理要領（案）の改定による。